

平成 22 年 2 月 23 日  
第 7 号



穴通磯(基石海岸)

# みちのく環境だより

環境省東北地方環境事務所 <http://tohoku.env.go.jp>

東北地域における環境問題の取組と東北地方環境事務所の活動内容を紹介しています。

## 地域の取組紹介

### ～まちとむらをつなぐ循環の かけ橋「レインボープラン」 (山形県長井市)

循環型社会への先駆的取組事例として全国的に評価を得ている山形県長井市のレインボープラン。平成20年度には、環境省も循環型社会形成推進功労者等大臣表彰を贈っています。この名まえに込められた願いは、まちとむら、台所と農業、現在と未来との間を希望のかけ橋でつなぐことだと熱く語るのは、レインボープラン推進協議会会長江口忠博氏。

現在、長井駅を中心とする中央地区約5,000世帯から排出される生ごみは約230か所のステーションで分別収集され、コンポストセンターへ搬入されて、ほぼ全量が堆肥化されます。

その結果、生活系可燃ごみが事業開始前と比較して33%減量しました。

堆肥は市内の農家へ供給され、一定の基準で生産された多様な作物がレインボープラン農産物として認証されます。それらは家庭の食卓や学校給食で利用され、原則市内で消費されます。すなわち、まちの人々は堆肥の生産者として土作りに参加し、むらの人々が作物の生産者としてまちの人々のいのちの糧を作るという構図です。

レインボープランの理念は「循環」「ともに」「土はいのちのみなもと」の3つ。課題は、消費者にも生産者にも、この理念をしっかりと伝え、永く続けていくこと。

レインボープランが未来の社会へのかけ橋ともなるよう、更なる発展を期待します。



④レインボープラン農産物認証マーク

### ～秋田県藤里町のツーリズム 事業について(藤里町)

秋田県藤里町は、世界自然遺産白神山地登録範囲の南東部25.6%を占めており、その周辺においても、人為の影響をほとんど受けていない源流と原生的なブナ天然林が分布しており、カモシカ、ヤマネ、クマゲラ、イヌワシの天然記念物も生息しています。

(次ページへ)



①レインボープラン推進協議会  
江口会長



②バケツコンテナの配置  
③家庭ごみ収集ステーション

## 環境省東北地方環境事務所

〒980-0014

仙台市青葉区本町3-2-23  
仙台第2合同庁舎

電話:022(722)2870(代表)

FAX:022(722)2872

電子メール: [REO-TOHOKU@env.go.jp](mailto:REO-TOHOKU@env.go.jp)

(リサイクル、有害廃棄物輸出入関係、地球温暖化対策、石綿健康被害等に関すること)

電子メール: [TOHOKU@env.go.jp](mailto:TOHOKU@env.go.jp)

(国立公園、エコツーリズム、自然再生、野生生物、外来生物等に関すること)

藤里町では、この先人が大事にしてきた白神山地の価値を未来へ継承するため、地域・環境・観光が手を取りあい、魅力ある白神山地のエコツアーを推進しています。

ツーリズムの取組は、藤里町商工会、藤里町農林商工課、世界遺産センター活動協議会が連携して、平成22年度は春の「白神山地山開き登山」を初めとして四季を通して9事業を企画し、エコ・ツアー情報として、パンフレット及びインターネットで広報しています。

特に「白神山地 黄葉のブナ林と食祭」は秋の味覚をまるごと堪能でき、今年度はツアー客を含め77名が参加し大盛況となりました。

詳細については、藤里町役場農林商工観光係にお問い合わせください。

平成21年度のツアーとしての募集については、食祭をはさんで2泊3日の日程で計画しましたが、ツアー全体を通しての参加者が少なかったことから、次年度については、食祭をはさんだ1泊2日のエコ・ツアーに短縮して、ツアー全体の参加者数を20名前後

の実績を目指した魅力あるプログラムにして行きたいと話していました。

また、プログラム内容につきましても、三者連携の枠を超えて「藤里町ツーリズム協議会」（構成：15団体、個人）の枠組みで企画し、世界遺産白神山地の麓の町としての魅力向上を図り、また来たい藤里町のリピーターを増やしていきたいと話していました。

### ～十和田湖冬物語

（十和田市）

十和田八幡平国立公園に位置する十和田湖畔の休屋では、冬のイベント「十和田湖冬物語」が開催されています。

このイベントは、2月5日から28日までの約1ヶ月間、冬の十和田湖の魅力を体験してもらおうと、「十和田湖冬物語実行委員会」の主催で毎年開催されています。

開催期間中は、ライトアップされた雪像やかまくらが幻想的な雰囲気演出し、郷土芸能、青森・秋田県の食彩を使った様々な料理、雪国ならではの遊びなど、地域の自然や文化を活かした手作りの「おもてなし」がたくさん用意されています。

雪が彩る冬の十和田湖の景観と共に、地域の様々な文化を満喫することができます。

## 事業紹介

### ～地球のいのち、 えがいてみよう

本年10月に名古屋市で開催される生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）に向け、全国の地方環境事務所等が連携し、国立公園や国指定鳥獣保護区にあるビジターセンター等で「地球のいのち、えがいてみよう」を実施することになりました。

これは、ビジターセンター等の来館者に、生き物の折り紙や塗り絵等を作成して、予め自然保護官等が作成した地域の自然環境を描いた模造紙に貼り付けていただき、地域の生物多様性の素晴らしさを表現しようというものです。

ビジターセンター毎に実施時期に違いはありますが、概ね5月中旬まで実施した後、中部地方環境事務所に送り、国際生物多様性の日などのイベント等で展示し、生物多様性に対する関心を高めて頂くこととしています。

東北地方環境事務所管内では、各ビジターセンター等の来館者の他、青森県の西目屋小学校、秋田県の大潟村小学校・大潟村中学校の児童・生徒さんにも参加していただく予定です。

皆様も各地のビジターセンター等にご来館の際は、是非ご参加下さい。

（次ページへ）



白神山地 黄葉のブナ林と食祭  
食事風景



十和田湖雪物語点灯式

宮城県のご協力のもと、伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターでの実施に向け、仙台自然保護官、保護官補佐が制作中の下絵と貼付例を下記の写真で紹介しします。



伊豆沼・内沼周辺の自然環境をイメージした台紙



カワアイサを描いて貼り付けたところ(1羽は潜水中)

## 今月のトピックス

### ◎表彰団体等の紹介

#### 平成21年度「循環・共生・参加まちづくり表彰」

環境省では、「持続可能な社会」の構築に向け、多岐にわたる地域の課題を視野に入れ、地域に根ざした持続可能なまちづくりに取り組み、顕著な実績を上げている団体を表彰しています。平成21年度における東北地区の表彰受賞者は次のとおりです。

#### ○宮城県登米市

市民・事業者・各種団体等による「登米市環境市民会議」を設立、各分野において、行政と連携して環境保全に関する取り組みを行っている。

#### ○福島県阿武隈川サミット 実行委員会（事務局福島市）

治水、利水、水質を含む河川環境の保全を三つの柱とし、流域自治体（福島県・宮城県の22自治体）が一体となつての河川のクリーンアップ作戦等多彩なイベント活動に取り組んでいる。

なお、表彰式は、2月16日（火）に環境省本省において行われました。

#### 平成21年度「容器包装3R 推進環境大臣賞」

環境省では、容器包装廃棄物の3Rの推進に資する活動の奨励・普及を図るため、地域の連携協働部門、小売店部門及び製品部門からなる「容器包装3R推進環境大臣賞」を設け、顕著な実績を上げている団体等に授与しています。

平成21年度における東北地区の受賞者は次のとおりです。

#### ○宮城県酒造協同組合（仙台市） 「地域の連携・協働部門」 最優秀賞

宮城県内の消費者からメーカーへの流れに使用を限定した「R300mlびん用専用回収箱」を作成し、宮城県内でR300mlびんの再使用（リユース）を促進させるシステムを構築した。

## 職場紹介

### ～国立公園・保全整備課

当課は、東北管内の3国立公園と3自然環境保全地域及び白神山世界遺産地域の保全管理を担当しており、法律に基づいた自然環境の保全や、自然観察会等を通じた自然とのふれあいの推進を各自然保護官事務所とともに関係自治体及び関係団体の協力を得ながら進めております。

また、国立公園地区の自然環境の保護と適正な利用を推進するため、ビジターセンターの整備や植生復元等の工事を行っており、直轄事業で平成20年度から工事を実施してまいりました、陸中海岸国立公園の浄土ヶ浜ビジターセンターが4月からオープンする予定となっております。

今後ますます自然環境の保全管理と適正利用に取り組んでまいりますので、各自治体・各種団体及びパークボランティア等の方々のご協力のほどよろしくお願いいたします。



国立公園・保全整備課

## 東北地方環境事務所の業務予定(平成 22 年 3 月・4 月)

	時 間	業 務 予 定 内 容		場 所 等	担 当 課 等
3.2	10:30～ 17:30	北海道・東北地区 3R 推進マイスター研修会	環境大臣が委嘱している北海道・東北地区の3R 推進マイスターを対象とした研修会	ホテルサンルート仙台(仙台市)	廃棄物・リサイクル対策課(佐々木)
3.4	13:00～ 17:00	平成 21 年度山形県地球温暖化対策地域協議会	来年度補助事業の概要及び算定・報告・公表制度の説明	山形県村山総合支庁(山形市)	環境対策課(池田、向田)
3.7	9:00～ 12:00	最上川バードウォッチング	国指定鳥獣保護区である最上川河口において、水鳥や小鳥類、猛禽類を中心とした野鳥観察会(初心者向けのバードウォッチング)を実施するもの	最上川河口域及び酒田港(酒田市)	鳥海南麓自然保護官事務所(大木)
3.7	13:00～ 17:30	2010 環境省地域対話 in 仙台	キーパーソンとの対話を通して、COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)の開催意義、国内外の生物多様性保全や取組に関する理解を深める。(主催:環境省生物多様性地球戦略企画室)	東北大学片平キャンパスさくらホール(仙台市)	野生生物課(多田)
3.10	13:30～ 16:00	平成 22 年度エネルギー対策特別会計予算等に係る説明会	来年度の事業の概要及び算定・報告・公表制度の説明	秋田地方総合庁舎(秋田市)	環境対策課(池田、向田)
3.11	13:30～ 15:30	平成 22 年度エネルギー対策特別会計予算等に係る説明会	来年度の事業の概要及び算定・報告・公表制度の説明	県民福祉プラザ(青森市)	環境対策課(池田、向田)
3.12	13:30～ 16:30	平成21年度改正土壌汚染対策法説明会	土壌汚染対策法の改正内容を地方自治体担当者向けに行う説明会	宮城県自治会館2階会議室(仙台市)	廃棄物・リサイクル対策課(佐々木)
3.17	13:00～ 15:00	改正自然公園法説明会	来年度(4/1)より施行される改正自然公園法やその政省令等の概要について、県担当者等への説明会を実施するもの	仙台第 2 合同庁舎 2 階大会議室(仙台市)	国立公園・保全整備課(北橋)
3.23	13:00～ 15:00	COP15の結果に関する地方説明会	COP15 の結果説明	仙台第2合同庁舎(仙台市)	環境対策課(池田)
4.9	9:30～ 14:00	基石海岸自然観察会	陸中海岸国立公園内の自然歩道(基石海岸を訪ねる道)を利用して、カタクリ等春の植物を紹介	大船渡市末崎町基石海岸を訪れる道(大船渡市)	大船渡自然保護官事務所(久保井)
4.9	8:30～ 15:00	スノーシューウォーク 第 4 弾 * 横岳	横岳でスノーシューウォーク	酸ヶ湯公共駐車場集合(青森市)	十和田自然保護官事務所(山本)
4.21	9:00～ 12:00	奥入瀬溪流クリーンハイキング	奥入瀬溪流でハイキングしながらゴミ拾い	石ヶ戸休憩所集合(十和田市)	十和田自然保護官事務所(七目木)
4.27	8:00～ 15:00	スノーシューウォーク 第 5 弾 * 乗鞍岳	乗鞍岳でスノーシューウォーク	鳶温泉駐車場集合(十和田市)	十和田自然保護官事務所(七目木)

## 誌上写真展



Shall We Dance  
(秋田自然保護官事務所 アクティブ  
レンジャー足利直哉)



カモシカIN休屋  
(十和田自然保護官事務所 アクティブ  
レンジャー種村由貴)



十和田雪物語雪灯籠  
(十和田自然保護官事務所 アクティブ  
レンジャー種村由貴)



乳穂ヶ滝祭り(西目屋村)  
(西目屋自然保護官事務所 山崎麻里)



化女沼の畔 飛び立ち  
(仙台自然保護官事務所 鎌田和子)



春の訪れフクジュソウ  
(大船渡自然保護官事務所 久保井喬)

※当事務所以外の方からの投稿もお待ちしております。

題字横の写真：穴通磯（岩手県基石海岸）  
(大船渡自然保護官事務所 久保井喬)